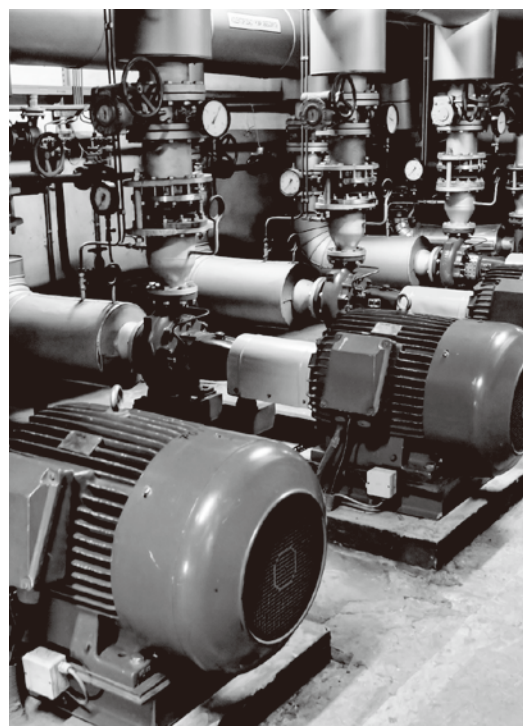


Sanwa *AI*EYES

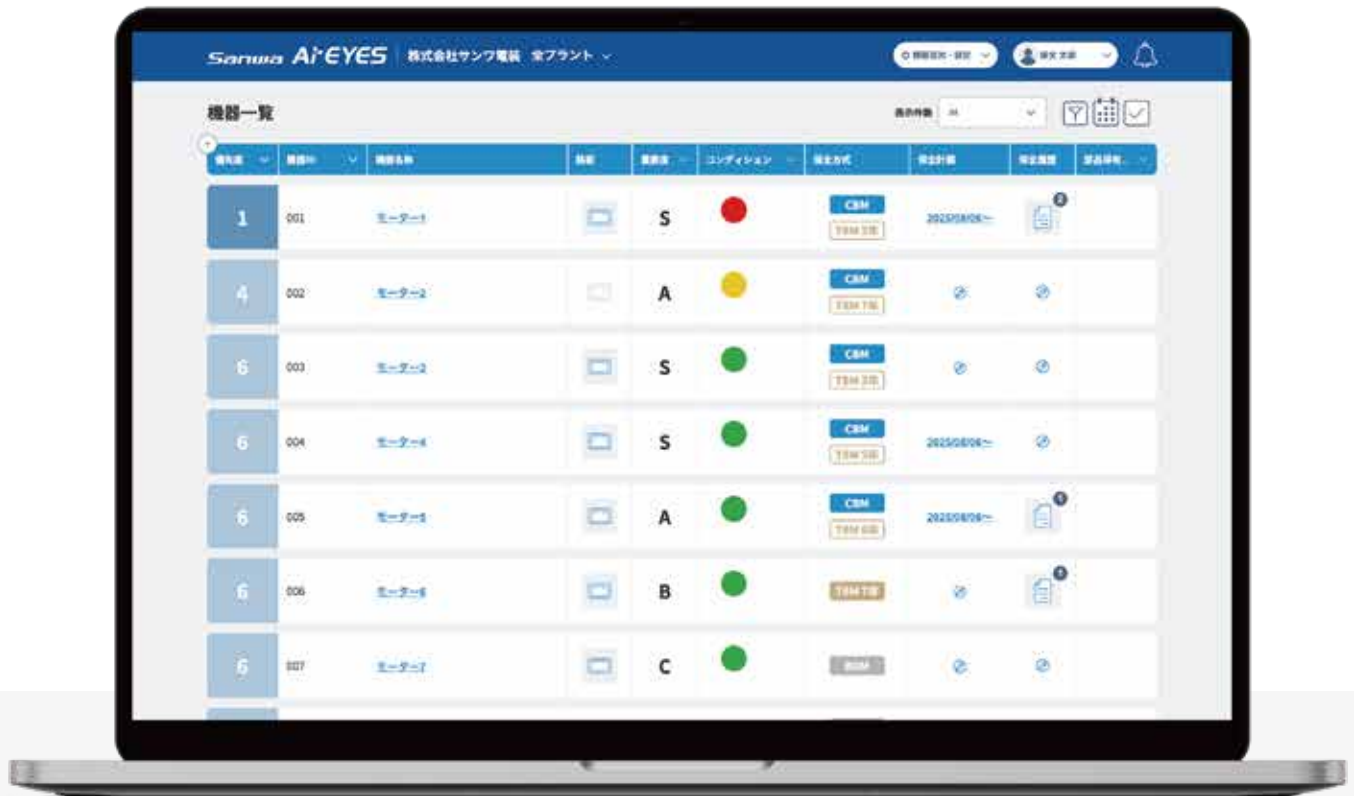
Produced by
Sanwadenso inc.

現場から生まれた
予兆保全カルテシステム



現場から生まれた 予兆保全カルテシステム

私たちが目指したのは、多機能や高精度ではなく、
「使う人」を第一に考えた、
現場の課題解決に直結するサービスです。



さまざまな現場課題を

Sanwa AiEYES だから解決できます。

設備リスク

故障・停止・安全への不安

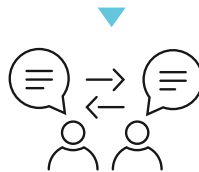


Solution

故障前兆をつかみ、事故リスクを低減
「安全」と「安定稼働」を両立

人材リスク

人材不足と技術・知見の断絶



Solution

カルテで保全知見を蓄積
情報の属人化を防止、技術継承を支援

コストリスク

過剰保全と在庫・工数のムダ



Solution

CBM・TBM・BDM いずれも登録可能
機器に応じた最適な保全で効率化

1. 独自のAI診断ロジック

独自のAI診断ロジック（特許第7557910号）によって「機器ごとの基準値」を自動生成。設置環境・稼働状況・経年劣化などによる個体差を踏まえた診断が可能です。従来よりも少ない情報入力で診断できるほか、一律のしきい値では見逃しがちな兆候も、より自然にキャッチします。

▼ 実現できること

- ☑ 予兆保全による突発故障の予防
- ☑ 巡視・点検コストの軽減



2. 現場発想の直感的なUI

UIは、「ぱっと見て、なんとなく使える」をコンセプトにデザイン。人間中心設計（HCD）にもとづいた画面構成で、自然な操作性を実現。現場への負担を最小限に抑え、導入後の定着率を高めます（特許第7589418号）。

▼ 実現できること

- ☑ DX導入時の現場負担を最小化
- ☑ 継続的な活用の促進



3. 情報の一元管理

CBMだけでなく、TBM・BDM方式の機器も登録可能。プラント全体の機器を俯瞰して管理できます。また、保全活動において必須の情報となる保全履歴・保全計画を記録でき、属人化しやすい情報を資産化し、技術継承を支援します。

▼ 実現できること

- ☑ 情報の整理による保全活動の効率化
- ☑ 保全知見の蓄積と技術継承の支援

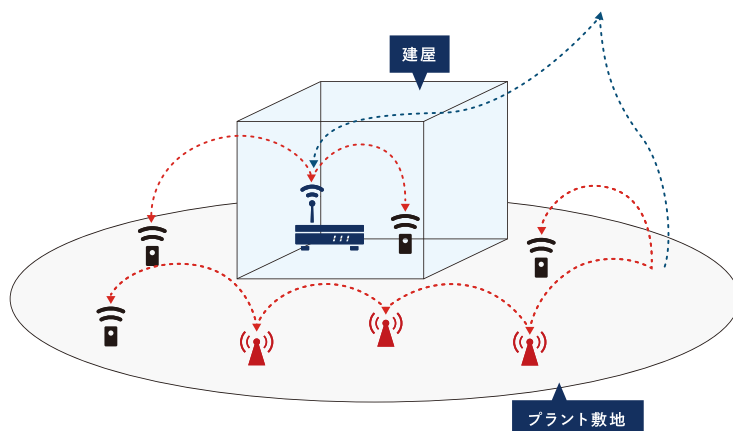


SYSTEM ARCHITECTURE



柔軟なシステム構成

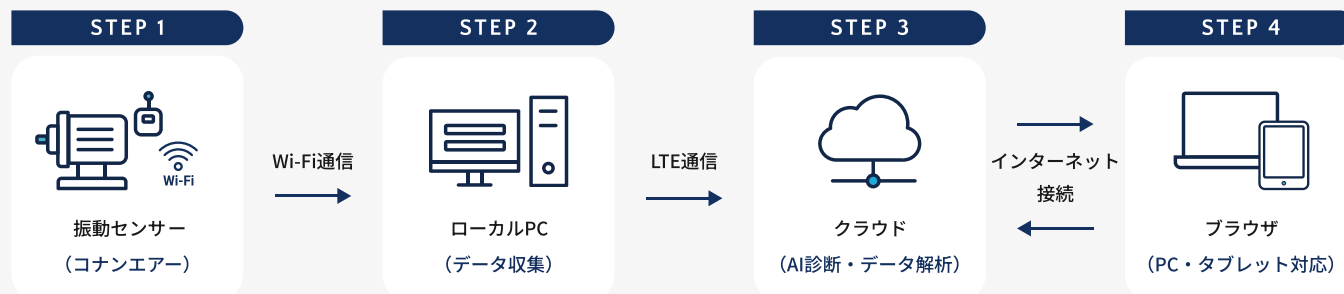
通信環境が整っていないプラントでも、Wi-Fi+LTEにより「必要なエリアに必要なだけ」無線ネットワークを構築できる施工パッケージ Sanwa Field Link™ を独自開発。無線・バッテリー式センサー（コナンエアー）と組み合わせ、最小限の工事で導入が可能。既存ネットワークに干渉しない独立型構成のため、セキュリティにも配慮しています。



▼ 実現できること

- ☑ 柔軟な無線環境構築
- ☑ スモールスタートから段階的な拡張まで対応

Sanwa AiEYES 接続構成



ACADEMIC PARTNERSHIP

産学連携による確かな技術

早稲田大学「スマートエスイー」修了制作（2021年）をアイデアのベースに、会津大学 荊雷研究室・齋藤寛

東京大学先端科学技術研究センター 矢入教授との共同研究を実施。学術機関との連携により、現場から生まれたアイデアを確かな技術へと昇華しています。



Sanwa AiEYES

サービスの詳細について

詳細は、URLもしくは、QRコードにてご覧下さい。

<https://sanwa-ai-eyes.jp>



ニッポンの化学プラントを強くする

Sanwa Denso

施工会社である私たちが、
調査・施工・運用までワンストップで提供します。